

1 単元名 バスケットボール

2 運動の特性

(1) 一般的特性

2つのチームがコート内に入り交じって、手でボールを操作し、パスやドリブルを使って攻めたり、味方と協力して相手の攻撃を防いだりして、ゴールにシュートして得点を競い合いながら楽しむ運動である。

(2) 子どもから見た特性 (男子13名 女子17名 計30名)

省略

3 仮説と学習の手立て

(1) 市教研体育部の研究仮説

子どもが健康な生活を送ったり運動に意欲的に取り組んだりするための様々な学習の手立てを工夫すればよいだろう。

(2) 学習の手立て

[手立て I]

運動の特性を十分に検討した上で、子どもの願いを大切にしたい学習の道すじを工夫すればよいだろう。

○ステージ型の道すじ

バスケットボールの経験が少ない本学級の実態から、ステージ型で学習を進める。

ねらい①では、自分たちに合った易しいルールで1ゴールゲームに取り組む。その中でルールや試合の進め方を理解し、ゲームの楽しさを感じられるようにしていきたい。1ゴールゲームでは前後半で攻撃側と守備側に分かれる。流動的に攻撃と守備が入れかわる2ゴールでのバスケットボールは、経験の少ない子どもにとっては難しい。易しい場で攻守の区切りをつけて学習していく中で、自分たちの課題に気づき、話し合いやチーム練習を通して成長していけるだろう。

ねらい②では、2ゴールゲームに挑戦する。1ゴールゲームでの反省や改善点をもとにチームに合った攻め方・守り方を考えさせたい。相手チームの攻め方や守り方を見て「作戦の例」などを参考にして簡単な作戦をたてさせたり、ゲーム終了後に工夫した攻め方・守り方について変更したり、強化したりする点について話し合わせたい。

[手立てⅡ]

一人一人の能力に応じた学習を進めるための手立てを工夫すればよいだろう。

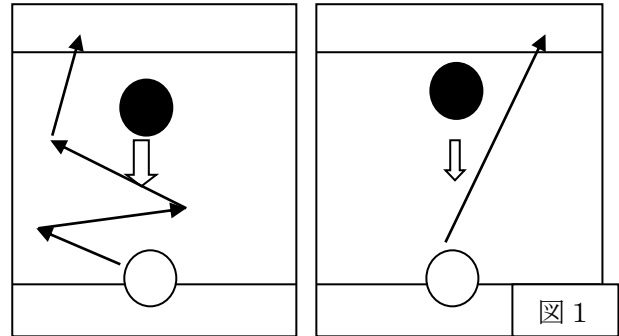
○チャレンジタイム

ねらい①では、チャレンジタイムを通して、マークを振り切ってフリーになる動きや相手にボールを取られないためのパスの方法について学ばせていきたい。

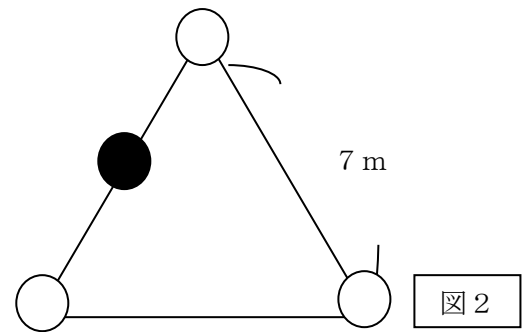
フラッグゲーム（図1）では、腰につけたフラッグを相手に取られないようにして相手陣地に入れば得点とし、スペースを見付け、ボールを持たない動きを練習する。マークを振り切り、スペースでボールをもらうためには、「ジグザグに動く」や、「直線的に動く」「緩急をつけて動く」などいろいろなパターンが出てくるものとする。

トライアングルゲーム（図2）では、味方3人は三角形の線上のみを動けること、ボール保持者は動けないこと、敵1人は相手ボールをカットできることを条件にゲームを行う。このゲームを行うことによって、ボールを出す側の子どもは、ボールを出す相手との間に敵プレイヤーがいないことが、パスが通ることの条件であることを感じとることができるであろう。また、実際のゲームでも三角形を作ってゲームを進めていくという動きが出てくることを期待している。

<マークを外して走りこむ動きの例>



<3対1でのトライアングルゲーム>



○ルールの工夫

アンケートの結果から、「バスケットボールのルールが難しそう」「理解できるかわからない」ということが子どもがバスケットボールに対して苦手意識を感じている大きな理由になっている。そこで、バスケットボールの特性を損なわない程度の易しいルールでバスケットボールに慣れさせていきたい。

ドリブルはなしとし、パスのみのゲームを行う。これは「ボールを保持する人と自分の間に守備者を入れないような動き」や「得点しやすい場所に移動し、パスを受ける動き」など「ボールを持っていない時の動き」を子どもたちに意識させることや「技能が高い子どもが一人で持ち込む」といったことをなくすことをねらいとしている。

○場の工夫

ねらい①ではバスケットボールの経験が少ない本学級の実態から1ゴールゲームを設定する。攻撃側・守備側が流動的に変わるのではなく、時間で区切って、それぞれを体験することで、ボール運動を苦手と感じている子どもでも、シュートやパスについて課題を考え、攻守の方法や足りない技能を

伸ばしていくことが容易になるだろう。ねらい②では2ゴールに広げ、ねらい①で得た反省や改善点をもとにチームに合った攻め方・守り方を考えさせる。ねらい①で攻撃の仕方、守備の仕方について易しい場で学んでいるため、コートを広げることで、動きの幅が広がり、新しい気付きを得ることができるだろう。なお、ねらい①の1ゴールゲームでは攻守が切り離されていることに対して、ねらい②では2ゴールに広げることから、攻守の切り替えが生じる。ねらい①からねらい②へのつながりを意識し、ねらい①では守備側がリバウンドをとっても、ゲームを区切らず、サイドに待機した子どもにパスを出すまでは攻撃側は守備側のボールを取りに行くこととする。このことで相手にボールが渡った際の攻守の切り替えを意識することができ、ねらい②へのつながりを持たせることができると考えた。

4 学習のねらいと道すじ

(1) 学習のねらい

- ◎ルールや攻め方・守り方をくふうしてバスケットボールを楽しむ
- バスケットボールの学習に関心を持ち、練習やゲームに進んで取り組もうとする。
- チームの課題を見付け、それをもとに簡単な作戦を立てられる。
- 空いているスペースを見付け走りこんだり、ノーマークを作ったりする動きからパスを受け取ることができる。

(2) 学習の道すじ

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
|-----|--|--------------------------------------|---|---|---|---|---|
| | はじめ | なか① | | | なか② | | |
| 0 | オリエンテーション ・学習の進め方 ・学習カードの使い方 ・めあての持ち方 ・チーム編成・役割分担 ・準備運動・チャレンジタイムの仕方を知る ・試しのゲーム | チャレンジタイム | | | | | |
| ↓ | | ねらい① 易しい場でゲームに取り組み、バスケットボールを楽しもう。 | | | ねらい② チームで攻め方・守り方を工夫してバスケットボールに取り組もう。 | | |
| 4 5 | | 後片付け・準備運動 | | | | | |
| 関 | ○ | ○ | | | ○ | | ○ |
| 思 | | | ○ | | | ○ | |
| 技 | | | | ○ | | | ○ |

5 評価規準（おおむね満足できる状況）

| 運動への関心・意欲・態度 | 運動についての思考・判断 | 運動の技能 |
|---|---|--|
| ①練習やゲームに進んで取り組もうとしている。 ②ルールやマナーを守り、チームの友達と助け合っって練習やゲームをしようとしている。 ③用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。 ④安全に気を配りながら用具の準備をしている。 | ①簡単なゲームの行い方を知り、作戦を立てている。 ②自分の力に合っためあてをもっている。 | ①友達が取りやすいところにパスを出したり、しっかりとキャッチしたりできる。 ②得点しやすい場所に動いてパスを受け、シュートを打つことができる。 |

6 学習活動と支援

| | 学習内容と活動 | 教師の支援と評価 |
|-----|--|---|
| はじめ | 【オリエンテーション】 1 学習のねらいと道すじ、時間配分を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。 2 学習カードの使い方について知る。 3 めあてのもち方について知る。 4 チーム分けと役割分担をする。 ○1チームの人数…3～4人（ローテーション制でゲームは3名で取り組む。いずれかのチームに得点があったとき、ボールが外に出たときに交代する。） 5 ルール・マナーについて話し合い、理解する。 6 用具の使い方・準備・後片付けの仕方、安全の確認について理解する。 7 準備運動・チャレンジタイムの仕方を知る。 8 試しのゲームを行う。 | |
| なか① | 1 学習の場をつくる。 2 準備運動をする。 ○ボールに親しむ運動をする。 ・ボールわたし（体側・頭上・股下） ・ボール投げ上げ（拍手10回） ・ボールくぐり（4回） ・ボールハンドリング 3 チャレンジタイムを行う。 | ◆安全に気を配りながら用具の準備をしている。（④関心・意欲・態度） ○楽しい雰囲気で行えるようにするとともに、心と体をほぐすよう助言する。 ○ボールを持って各部位を伸ばすとともに、体全体を使って行うようにする。 |
| | <チャレンジタイム> ○フラッグゲーム ・2チームで1組となり、攻撃側と守備側に分かれて行う。 ・攻めのチームはフラッグを取られないように相手陣地を突破する。 ・守りのチームは相手のフラッグを取りに行く。 ○トライアングルゲーム ・味方3人は三角形の線上のみを移動できる。 ・ボール保持者は動くことができない。 ・敵プレイヤーは相手のボールをカットすることができる。 | |

4 学習のねらい①を確認する。

易しい場でゲームに取り組み、バスケットボールに楽しもう。

○全体でめあてを確認したら、チーム毎に個人のめあて、活動内容を確認し合う。

<個人のめあての例>

- ・相手にとられないようにパスを出す。
- ・はやいパス回しで得点をねらう。
- ・ディフェンスを頑張つて点を取られないようにする。

○学習カードをもとに、めあてを確認させる。

○自分のめあてだけではなく、友達のもめあても聞き、みんなで協力して楽しめるよう助言する。

◆自分の力に合っためあてをもっている。

(②思考・判断)

マナー

- 1 ゲーム開始と終了の挨拶はしっかりと行おう。(大きな声で挨拶と握手)
- 2 チーム内で声をかけ合おう。よいプレイには「ナイスプレイ!」、失敗した仲間には「ドンマイ!」と声をかけよう。
- 3 ファウルをした時は素直に手をあげよう。
- 4 文句は言わない。笑顔でプレイする。
- 5 楽をせず、一生懸命プレイしよう。学習に全力で取り組もう。

はじめのルール

- 1 1チーム3～4人(フィールド内の人数は攻撃側は3人、守備側は2人。チーム内で順番を決めて、得点が入るかボールが外に出たらにローテーションで交代)
- 2 試合時間は6分間(前後半3分ずつ。)
- 3 ドリブルはなし。

5 1 ゴールゲームを楽しむ。

○挨拶をしてゲームを始める。(6分)

◆練習やゲームに進んで取り組もうとしている。

(①関心・意欲・態度)

◆ルールやマナーを守り、チームの友達と助け合つて練習やゲームをしようとしている。

(②関心・意欲・態度)

◆簡単なゲームの行い方を知り、作戦を立てている。(①思考・判断)

○ファウルについては積極的に助言し、公平なゲームができるようにする。

○どこにどのように動いたらボールを受けやすいか、ボールを持たない時の動きを考えさせ、よい動きは、みんなに紹介して称賛する。

| | |
|--|---|
| <p>○ゲームを振り返る。(3分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><話し合い></p> <p>○キャプテンが中心となり、話し合いを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあては達成できたか。 ・チームメイトと協力し、声をかけ合うことができたか。 ・工夫した攻め方や守り方などはどうだったか。 </div> <p>○2回目のゲームを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対戦相手を変える。 <p>6 学習のまとめをする。</p> <p>○学習カードをもとに作戦がうまくいったかどうかを発表する。</p> <p>○ルールについて話し合う。</p> <p>7 整理運動・後片付けをする。</p> <p>○各部位を十分にのぼし、ストレッチをする。</p> <p>○安全に気を付けながら、友達と協力して用具を片付ける。</p> | <p>○友達のプレーに対し声をかけ合い、チームの雰囲気盛り上げるように助言する。</p> <p>○頑張っている子やよい動きをしている子に称賛の声をかける。</p> <p>○話し合いが苦手な子や、話し合いがうまく進んでいないチームには話し合いがスムーズに行えるよう助言する。</p> <p>○よいプレーや励まし、アドバイスなどを行っている子やチームは、積極的に称賛する。</p> <p>○攻めのときであっても、守っている相手のよい動きや工夫した守り方があればチームのみんなに紹介して、取り入れたりするように助言する。</p> <p>◆友達が取りやすいところにパスを出したり、しっかりとキャッチしたりできる。(①技能)</p> <p>◆簡単なゲームの行い方を知り、作戦を立てている。(①思考・判断)</p> <p>○友達のよいところを具体的に発表できるよう助言する。</p> <p>○みんなが楽しめるルールを考えるよう助言する。</p> <p>○安全に気を付け、友達と協力して用具を片付けられえるようにする。</p> <p>◆用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。(③関心・意欲・態度)</p> |
|--|---|

| | | |
|-------------|--|--|
| な か ② | <p>1 学習の場をつくる。</p> <p>2 準備運動をする。</p> <p>○ボールに親しむ運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールわたし（体側・頭上・股下） ・ボール投げ上げ（拍手10回） ・ボールくぐり（4回） ・ボールハンドリング <p>3 学習のねらい②を確認する。</p> | <p>○協力しながら、安全に用具の準備をするようにする。</p> <p>◆安全に気を配りながら用具の準備をしている。（④関心・意欲・態度）</p> <p>○音楽にのせながら、心と体を十分にほぐさせる。</p> |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> チームで攻め方・守り方を工夫してバスケットボールに取り組もう。 </div> <p>○全体でめあての確認をしたら、チーム毎に個人やチームのめあて、作戦を確認し合う。</p> <p>○チームのめあての例</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形を作って攻撃しよう。 ・フリーの子を見つけてパスをしよう。 ・ボールをもらえる動きをしよう。 </div> <p>4 簡単な練習をする。（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習の例を参考にチームの課題に応じてパスやシュートなどの練習を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><練習の例></p> <ul style="list-style-type: none"> ○扇形パス ○ステージを使ってのシュート練習 ○作戦の動きの確認 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>ねらい②のルール</p> <p>1 1チーム3～4人（フィールド内の人数は3人。チーム内で順番を決めて、得点が入るかボールが外に出たらローテーションで交代）</p> <p>2 試合時間は6分間（前後半3分ずつ。前後半の間の3分間のハーフタイムを作戦タイムにあてる。）</p> </div> | <p>◆自分の力に合っためあてをもっている。（②思考・判断）</p> <p>○学習カードをもとに、めあてを確認させる。</p> <p>○自分のめあてだけではなく、友達のめあてもしっかり聞き、みんなで協力して取り組めるよう助言する。</p> <p>○チーム内で声をかけ合い、楽しい雰囲気で行えるようにする。</p> <p>○つまずきが見られる子には個別で指導する。</p> <p>○交錯しないよう、安全に気を付けて行うよう指示する。</p> <p>◆練習やゲームに進んで取り組もうとしている。（①関心・意欲・態度）</p> |

| | |
|---|--|
| <p>5 2ゴールゲームを楽しむ。</p> <p>○挨拶をして1回目のゲームをする。(6分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームのないチームは作戦を話し合う。 <p>○振り返りをする。(3分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><話し合い></p> <p>○キャプテンが中心となり、話し合いを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあては達成できたか。 ・チームメイトと協力し、声をかけ合うことができたか。 ・作戦はうまくいったか。 </div> <p>○2回目のゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対戦相手と話し合いゲームのルールを話し合い、ゲームのルールを確認し、自分のチームに伝える。 <p>○振り返りをする。(3分)</p> <p>6 学習のまとめをする。</p> <p>○友達のよいところを発表する。</p> <p>○作戦がうまくいったかどうかを話し合う。</p> <p>7 整理運動・後片付けをする。</p> <p>○使った筋肉をしっかりほぐし、けががないか確認する。</p> <p>○安全に気を付け、友達と協力して用具を片付ける。</p> | <p>◆簡単なゲームの行い方を知り、作戦を立てている。(①思考・判断)</p> <p>○友達のプレーに対し声をかけ合い、チームの雰囲気盛り上げるように助言する。</p> <p>○頑張っている子どもやよい動きをしている子どもに称賛の声をかける。</p> <p>○選んだ作戦が成功したかどうかについて視点があたるようにする。</p> <p>◆簡単なゲームの行い方を知り、作戦を立てている。(①思考・判断)</p> <p>◆ルールやマナーを守り、チームの友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。(②関心・意欲・態度)</p> <p>◆友達が取りやすいところにパスを出したり、しっかりとキャッチしたりできる。</p> <p>◆得点しやすい場所に動いてパスを受け、シュートを打つことができる。(①②技能)</p> <p>○積極的に友達のよいところを見付け発表できるようにする。</p> <p>◆用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。(③関心・意欲・態度)</p> |
|---|--|